

令和6年 宇美町二十歳のつどい 町長式辞

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい令和6年の新春を迎え、二十歳という人生の節目を迎えられました皆様に一言お祝いの言葉を申し上げます。

また、来賓各位におかれましては、公私何かと御多用にもかかわりませず、多数ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

今年の二十歳のつどいは「桜花（おうか）～羽実（うみ）からはばたく～」をテーマに、ともに二十歳を迎える同級生の記憶に残る式典を作るべく、実行委員長を中心に、昨年10月から話し合いを重ねて本日を迎えております。

私もどんなつどいになるのかとても楽しみにしております。

今年のテーマ「桜花（おうか）～羽実（うみ）からはばたく～」には、散ってはまた美しい花を咲かせる桜のように、時には挫折をしても、夢を追いかけ自分の花を咲かせてほしい、華やかに人生を謳歌してほしいという意味が込められているとお聞きしました。本日の二十歳のつどいにふさわしいテーマであると思っています。

本町の二十歳のつどいは、皆さんのためのつどいです。そのつどいが唯一無二のものとなるためには、実行委員の皆さんはもとより、この式典に参加している一人一人が、二十歳の誇りと自覚を持って協力することで完成するものと考えます。最後まで楽しい二十歳のつどいとなることを祈念しております。

さて、新年早々悲しいニュースが飛び込んで来ました。元旦には石川県能登地方で最大震度7を観測した地震が発生し、多くの方が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

また翌2日には、お正月休みで賑わう羽田空港で、日本航空と海上保安庁の航空機が滑走路上で衝突するという事故が発生し、残念なことに優秀な海保機の乗組員5名が犠牲となりました。一方で、日航機の乗員乗客379名は、着陸後18分で全員が脱出に成功し、パニックを起こしかねない状況で、国内外で「奇跡」とも称されています。果たして脱出劇は本当に「奇跡」だったのでしょうか？

日航機に8か所ある非常口のうち、5か所は使用せず、乗務員が解放できるドアを探り、前方に火が回っていないことを確認し、コックピットに連絡。しかし、つながらないまま、乗務員の判断でドアを開け、脱出シューターを使って次々と機外に出しました。一方で機長は、逃げ遅れの乗客がいないか、一列ずつ確かめながら後方へ進みましたが、まだ数人の乗客が残っていたそうです。全員が機外に出たのを確認し、機長は最後に脱出することになります。

もし、乗務員が、連絡が取れない機長の指示を待ち続けていたらどうなってい

たでしょうか？

もし、機長が、全員脱出したものと思い込み、機内を確認せずに脱出していたらどうなっていたでしょうか？

想像しただけでも、恐ろしい光景が広がっていたものと思われま

す。航空業界には、機長が脱出を指示してから90秒以内に乗客全員の脱出を求める「90秒ルール」があるそうです。そして日本航空では、毎年、旅客機

の全乗務員を対象に、様々な緊急事態を想定した訓練を実施しているとのことです。一生に一度、自分が搭乗する航空機であるかないかわからない事故に備えてケーススタディを重ね、万が一に訪れた場面で、訓練どおりに乗客を脱出させた乗務員はプロフェッショナルであり、職業人として素晴らしい仕事を成し遂げたと思います。

そういう意味で、日航機の乗員乗客379名が全員脱出に成功したのは「奇跡」ではなく『必然』であったと私は思っています。最大級の賛辞を贈りたいと思います。

皆さんの中には既に実社会で活躍している人、まだ身を学業にいそしんでいる人と、それぞれ立場が違いますが、ほとんどの人がいずれは職業に就くことになるでしょう。職業に就くということは、その道のプロフェッショナルになるということです。

これまでは、保護者や学校の先生などから指示を受けて行動を起こすことが多かったかと思いますが、保護者や学校の先生を今回の日航機の機長、皆さんを乗務員に例えるなら、同じ条件の中で、皆さんは、安全なドアを見つけ、連絡がつかない機長の判断を待たずにそのドアを開けるのかどうかという判断を短時間で迫られることになるわけです。それができたでしょうか？いや、やらなければならないのです。なぜなら、それが仕事であり、プロだからです。

プロといえば野球選手やサッカー選手など、どちらかといえば派手な職業を思い浮かべがちですが、職業についている人すべてが、その道のプロなのです。野球選手やサッカー選手が技術を磨き、より高いレベルを目指すように、皆さんもこれからも益々努力して知性を磨いていただき、体を鍛錬し、宇美町のそして日本の担い手となっていただくことを切望いたします。

二十歳を迎えられる皆さんがそれぞれの道へ“羽”ばたき夢を“実”現する未来に祝福と期待を込めまして、私の式辞といたします。

令和6年1月7日 宇美町長 安川 茂伸